

2016年度 星城大学 公開講座

入場
無料

後援：東海市・東海市教育委員会 知多市・知多市教育委員会 大府市・大府市教育委員会
常滑市・常滑市教育委員会 豊明市・豊明市教育委員会 東浦町・東浦町教育委員会
阿久比町・阿久比町教育委員会
共催：学校法人名古屋石田学園 星城高等学校・星城中学校・星の城幼稚園
星城大学リハビリテーション学院・名英図書出版協会

第1回

▶ 10月29日(土)

● 会場：知多市中部公民館
(ふれあいプラザ)

1 遊牧民の暮らしを覗く～モンゴルの現在～

10:00～11:30

定員 | 50名

「モンゴル」という単語から、たいていの日本人は「大相撲」を連想するほど、モンゴルが身近になっていますが、これ以外のことをどれだけ知っているかと問えば、「ゴビ砂漠、チンギス・カン、モンゴル帝国」程度だと思います。

モンゴル人の伝統的な生業形態は遊牧です。騎馬遊牧民族の墳墓の発掘調査を目的として訪れたモンゴルで知った、現代のモンゴル人の暮らしやものの見方、価値観などの一端を紹介したいと思います。



経営学部 教授
松原 隆治

第2回 ▶ 11月19日(土) ● 会場：東海市立商工センター

1 北海道の昆布が支える日本の文化

13:00～14:30

定員 | 70名

星城大学 リハビリテーション学部 講師 齋藤 貴之



「和食」の基本となるダシ食材として、近年世界中の注目を集めている昆布。日本では、昆布巻きや佃煮、煮物の具材として利用されているほか、喜ぶ・祝う・祈るといった場面にも欠かせない存在として古くから利用されてきました。しかし、昆布が、どこで採れ、どのように利用されているかという、意外と知らないことも多いのです。

そこで、今回は、日本の文化という視点から、昆布の知られざる世界をちょっとのぞいてみることにします。

2 よく噛むことで脳を元気に保つ

15:00～16:30

定員 | 70名

星城大学 リハビリテーション学部 教授 久保 金弥



子供の頃、両親から「よく噛んで食べなさい。」と注意された経験が誰にでもあると思います。

最近、よく噛むことが脳の働きを活性化させ、認知症予防だけでなく、肥満を改善し、ストレス防止にもつながることが科学的に明らかになってきました。今回の講演では噛むことが脳に与える影響、特に、なぜ噛むことで認知症やストレス性疾患が予防できるのか解説いたします。健康長寿のために、噛むことの大切さを見直してみましょう。

◆公開講座ならびにシンポジウム等、本学行事の案内をお送りいたします。案内がご不要な方は、お手数をおかけいたしますが、お知らせください。

申込書

フリガナ お名前	電話番号 () -
郵便番号・ご住所	年齢(○でお囲みください。) 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上

希望講座

★参加を希望される講座の右側の()内に○をご記入ください。

10月29日

1. 遊牧民の暮らしを覗く
～モンゴルの現在～ ()

11月19日

1. 北海道の昆布が支える日本の文化 ()
2. よく噛むことで脳を元気に保つ ()

申込方法 (各講座定員になり次第、締め切りとさせていただきます)

EメールとFAXでお申し込みいただけます。

Eメールの場合、お名前・郵便番号・住所・連絡先・希望講座名をご記入のうえ、koukai@seijoh-u.ac.jpへお送りください。

FAXの場合、このチラシ下部の申込書にご記入のうえ、**(052)689-6051**へお送りください。

お問い合わせ

〒476-8588 東海市富貴ノ台2-172
TEL 052-689-6050

星城大学 エクステンションセンター公開講座 係
会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

